

# 小山市事務事業評価シート

令和4年度版

No. 11

<b>1. 基本情報</b>				
<1> 事業・業務名	開運おやま健康マイレージ事業		<2> 事業・業務の別	事業
<3> 選定基準	② 事業の範囲や経費等について、市の裁量の余地がある事業		<4> 継続業務・新規業務の別	継続業務
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	7 市民が生き生き 安全・安心で健康なくらしづくり	<6> 担当部(局)	保健福祉部
	中項目	7-5 みんなが健康長寿で安心できる暮らし	<7> 担当所属	健康増進課
	小項目	7-5-1 保健・健康づくり・地域医療	<8> 担当係等	健康増進係
	施策			
<9> 根拠法令・計画等	小山市総合計画基本計画	<10> 関連・類似事業	なし	
<11> 会計	一般	会計	<12> 予算科目	4 款 1 項 2 目
<13> 実施期間	年度 ~ 年度	<14> 全体事業費	千円	
<15> 実施手法	直営	「その他」の場合 ( )		

## 2. Do - 実施 -

<16> 事業・業務の概要  
市全体の健康づくりの気運を高め、市民が主体的・継続的に健康づくりに取り組めるよう、検診受診、ウォーキング、市主催イベントへの参加等、個々人の健康づくりや生きがいづくりへの取組をポイント化し、規定のポイントを貯めた者に対し、転換品を付与する。

目的  
<17> 事業・業務の目的  
市民自らの主体的な健康づくりの取組を支援し、地域による健康づくり活動を推進する。  
<18> 事業・業務の対象  
16歳以上の市民

<19> 令和3年度の活動内容  
本庁、出張所、関係機関等にパンフレットを設置、またポイント付与対象事業実施時にパンフレットを配布し、事業の周知を図った。

手段	<20> 活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度
				計画	実績	計画	実績	計画	計画
		パンフレット配布枚数	件	20,000	13,110	20,000	13,500	20000	20000
		指標とした理由	事業を周知し、参加者を増加させるには、内容が明記されたパンフレットの配布が効果的であるため。						
		開運健康手帳配布枚数	件	2,000	835	2,000	720	2000	2000
		指標とした理由	コロナ禍によりイベント等、ポイント付与対象事業が減少しているため、個々人の健康づくりの取組によりポイントを獲得できる開運健康手帳の配布数を増加させることは、参加者数の確保に繋がるため。						

<21> 事業・業務の成果  
事業参加者を増やすことで市民の健康づくりへの意識向上を図り、地域による健康づくりを推進する。

成果	<22> 成果指標 (活動した結果得られた成果の量や実績)	指標名	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度
				計画	実績	計画	実績	計画	計画
		参加人数	人	300	240	350	175	400	500
		活動指標との関係や成果指標とした理由	事業実績のみでなく、実施方法等の効果検証も同時に行うことができるため。						
		健康づくりへの意識の向上	%	90	96.8	90	96.9	90	90
		活動指標との関係や成果指標とした理由	事業参加者の健康づくりへの意識向上を評価することで、事業の成果と同時に実施方法等についても評価することができるため。						

資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績		令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度	
			単位	計画(予算)	実績(決算)	計画(予算)	実績(決算)	計画(予算)	計画(予算)	
			千円	3,839	3,144	3,127	2,739	3,127	3,127	
		事業費等		千円	1,517	822	805	417	805	805
		財源内訳	国・県補助金	千円						
			地方債	千円						
			その他	千円						
	一般財源	千円	1,517	822	805	417	805	805		
	上記の主な用途	ポイント転換品原資、パンフレット・開運手帳等作成費								
	人件費	千円	2,322	2,322	2,322	2,322	2,322	2,322		
	正職員	千円	7,737 × 0.3	7,737 × 0.3	7,737 × 0.3	7,737 × 0.3	7,737 × 0.3	7,737 × 0.3		
	他の職員	千円	×	×	×	×	×	×		

## 3. Check - 評価 -

実績評価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1. 妥当である		
		理由	少子高齢化が進行し今後も医療費の増加が見込まれる状況の中、市民自らの主体的な健康づくりの取組は医療費の削減に寄与するものであり、目的・対象ともに妥当と考える。		
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	1. 妥当である		
		理由	本事業の実施方法は、他事業を活用し効果的に市民の主体的な健康づくりの習慣化を図るものであり、妥当である。		
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	2. 変わらずにある		
	理由	事業の内容、方法等のさらなる改善を図るため、市民のニーズはあるものと思われる。			
	<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	1. 妥当である			
	理由	ポイントが獲得できる事業の確保等が必要となることから市が主体で実施する必要がある。			
	有効性	<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	1. 向上の余地はある		
		理由	周知方法等の改善により参加者をさらに増加させることが可能と思われ、向上の余地はある。		
<29> 総合計画基本計画施策への貢献度は大きいのか?		2. 中位			
理由	本事業は他事業の活用、市民の主体的な取組により実施されており、コストが抑えられている。				
効率性	<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?	1. 向上の余地はある			
	理由	他事業のさらなる活用等、効率の向上の余地はまだある。			
公平性	<31> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	4. 該当しない			
	理由	本事業は他事業の活用、市民の主体的な取組により実施されるものであり、該当しない。			
<32> 総合評価	2. 改善の余地はある	理由	コロナ禍の中、各種イベントの中止によりポイント付与対象事業の確保は困難であるが、本事業が市民の主体的・継続的な健康づくりの支援であることを踏まえ、市民個々人の健康づくりの実績を記録できる「開運健康手帳」の活用によるポイント付与を充実し、イベント参加によらない事業参加者数の増加を図っていく必要がある。		

## 4. Action - 改善 -

事業の改善  
<33> 事業の課題  
事業の改善点  
本事業の最大の課題は参加者数の増加であり、以下の取組により課題の改善を目指す。  
①事業の認知度を更に上げ応募数を増やすために、マイレージサポート店・一般企業・医療機関等にも協力を仰ぎ、多くの市民の目に触れるようPRを強化する。  
②令和3(2021)年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う対象事業の中止により、イベント参加によるポイント獲得が難しく参加者数が減少したことから、令和4年度以降は、開運健康手帳によるポイント獲得について要件を緩和、また健診等の受診や開運健康手帳によるポイント獲得について周知を強化する。

## 5 Plan - 計画 -

事業の方向性	<34> 1次評価	所属長	3. 現状維持	理由	市民自らの主体的な健康づくりを広めるためには、市民の健康づくりへの意識向上、及び取組への支援が必要である。本事業は、インセンティブの付与により、市民の健康づくりへのきっかけづくり、及び取組の継続に効果的に寄与するものであり、今後も継続することが妥当である。
	<35> 2次評価	所管部長	3. 現状維持	理由	少子高齢化が進行する現在、医療費の増加を減減し、市民の生活の質(QOL)の向上を図るには、健康寿命の延伸が最大の課題である。本事業は、市民各自の継続した健康づくりを支援するものであり、健康寿命の延伸に十分寄与することが見込まれ、継続実施が望ましい。なお今後は、事業参加者数の増加を図るのみでなく、内容についても常に改善を図る必要がある。
	<36> 実施計画・今後の方針	本庁、出張所、関係機関等へパンフレットを設置、また検診やイベント等のポイント付与対象事業実施時にパンフレットを配布する等により、市民への事業の周知・普及を図る。			
事業の計画	<37> 活動・成果目標	パンフレットの配布、市ホームページの掲載等により事業の周知を行い、参加者数の増加を図る。			